

## 第2回浪速区民モニター報告書

### 「防災・防犯について」



平成23年3月

大阪市浪速区役所

## 【1】調査の概要

### 1. 調査の目的

浪速区では、安全・安心まちづくりの実現に向けて、防災・防犯に関する様々な施策を行っているところですが、今後の施策を検討するにあたって、ご参考にさせていただくために、アンケートを実施しました。

### 2. 調査の実施状況

調査期間：平成23年2月3日（木）～2月18日（金）

方 法：電子申請システム及び郵送

対 象：区民モニター登録者 230名

回 答 数：164名

回 答 率：71.3%

### 3. 区民モニター数及び回答者数

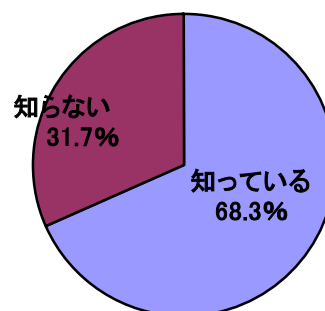
|     |       | 区民モニター |     |     | 回答者 |     |     |
|-----|-------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|
|     |       | 男      | 女   | 計   | 男   | 女   | 計   |
| 計   |       | 94     | 136 | 230 | 61  | 103 | 164 |
| 年齢別 | 29歳以下 | 8      | 25  | 33  | 3   | 14  | 17  |
|     | 30歳代  | 15     | 28  | 43  | 6   | 24  | 30  |
|     | 40歳代  | 18     | 25  | 43  | 11  | 20  | 31  |
|     | 50歳代  | 17     | 19  | 36  | 12  | 15  | 27  |
|     | 60歳代  | 19     | 16  | 35  | 16  | 14  | 30  |
|     | 70歳代  | 12     | 19  | 31  | 9   | 13  | 22  |
|     | 80歳以上 | 5      | 4   | 9   | 4   | 3   | 7   |

## 【2】調査結果の分析

### 【防災について】

問 1. 地震や台風等で避難が必要な際の最寄りの避難所をご存じですか。

|          |     |
|----------|-----|
| 1. 知っている | 112 |
| 2. 知らない  | 52  |
| 回答者数     | 164 |

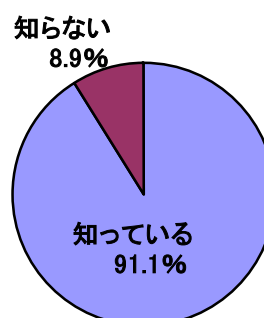


#### 【全体的傾向】

最寄りの避難所をご存じかどうかについては、「知っている」が68.3%、「知らない」が31.7%となっている。

問 2. 問 1 で「1. 知っている」とお答えの方にお聞きします。最寄りの避難所までの道順をご存じですか。

|          |     |
|----------|-----|
| 1. 知っている | 102 |
| 2. 知らない  | 10  |
| 回答者数     | 112 |

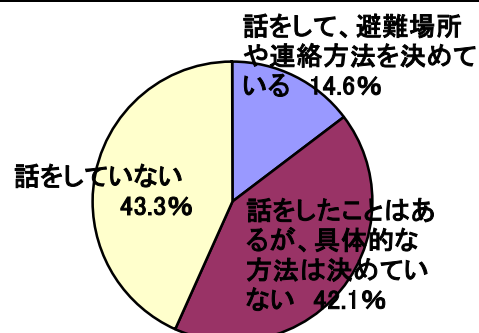


#### 【全体的傾向】

最寄りの避難所までの道順をご存じかどうかについては、「知っている」が91.1%、「知らない」が8.9%となっている。

問 3. 災害時の避難や連絡方法について家族で話をされていますか。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| 1. 話をして、避難場所や連絡方法を<br>決めている     | 24  |
| 2. 話をしたことはあるが、具体的な<br>方法は決めていない | 69  |
| 3. 話をしていない                      | 71  |
| 回答者数                            | 164 |

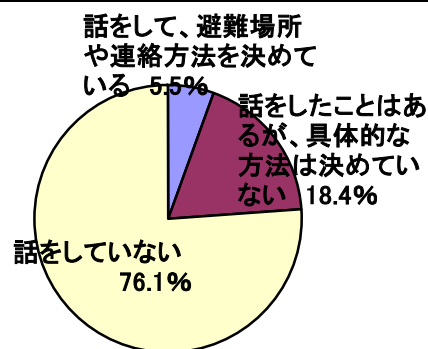


### 【全体的傾向】

災害時の避難や連絡方法について家族で話をされているかどうかについては、「話をしていない」が43.3%、「話をしたことはあるが、具体的な方法は決めていない」が42.1%、「話をして、避難場所や連絡方法を決めている」が14.6%となっている。

#### 問 4. 災害時の避難や連絡方法について近所の方と話をされていますか。

|                             |     |
|-----------------------------|-----|
| 1. 話をして、避難場所や連絡方法を決めている     | 9   |
| 2. 話をしたことはあるが、具体的な方法は決めていない | 30  |
| 3. 話をしていない                  | 124 |
| 回答者数                        | 163 |



### 【全体的傾向】

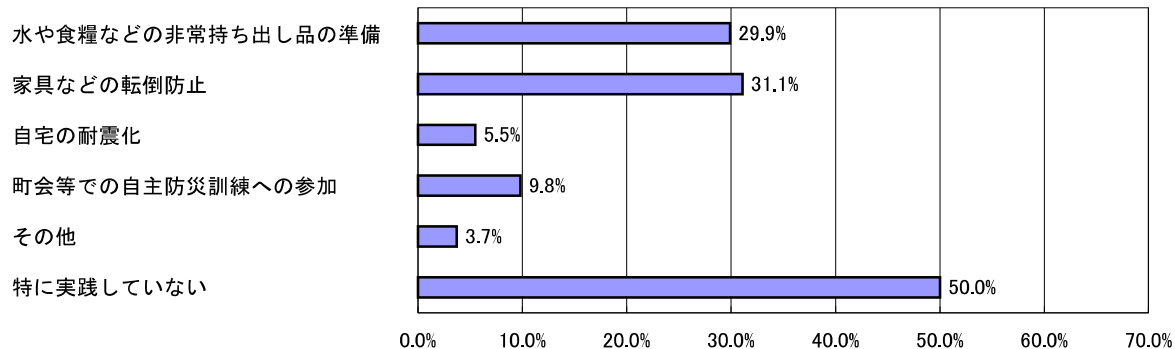
災害時の避難や連絡方法について近所の方と話をされているかどうかについては、「話をしていない」が76.1%、「話をしたことはあるが、具体的な方法は決めていない」が18.4%、「話をして、避難場所や連絡方法を決めている」が5.5%となっている。

#### 問 5. 災害時に備えて日頃から実践されていることはありますか。（複数回答可）

|                      |     |
|----------------------|-----|
| 1. 水や食糧などの非常持ち出し品の準備 | 49  |
| 2. 家具などの転倒防止         | 51  |
| 3. 自宅の耐震化            | 9   |
| 4. 町会等での自主防災訓練への参加   | 16  |
| 5. その他               | 6   |
| 6. 特に実践していない         | 82  |
| 回答者数                 | 164 |

#### 「5. その他」の具体的な内容（主なもの）

- ・避難用のロープを準備している。
- ・非常持ち出し用ではないが、レトルトや缶詰などの食料品を常に多めに買っている。
- ・独り身なので必要を感じない。どんな状況でも適応できる自信あり。海外の信じられない程の経験あり。



### 【全体的傾向】

災害時に備えて日頃から実践されていることについては、「特に実践していない」が50.0%、「家具などの転倒防止」が31.1%、「水や食糧などの非常持ち出し品の準備」が29.9%と続いている。

問6. 災害時での高齢者や障害者への支援で重要だと思う事は何ですか。

127名の方から回答が寄せられました。主な回答は下記のとおりです。

|                     |    |
|---------------------|----|
| ・ 安全な場所への誘導         | 35 |
| ・ 要支援者の人数、所在の把握     | 25 |
| ・ 家族や近所の人など身近な人の手助け | 12 |
| ・ 心のケア              | 9  |
| ・ 日頃からの声かけ          | 8  |
| ・ 医療面での支援           | 8  |
| ・ 安否確認              | 7  |
| ・ 食糧、水の確保           | 4  |

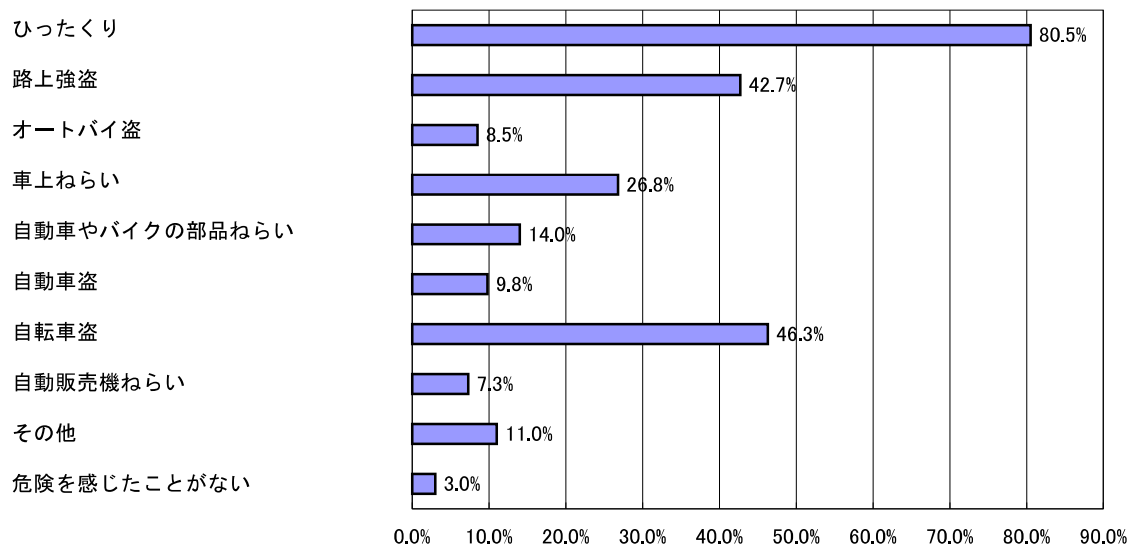
### 【防犯について】

問7. 日常生活等の中で被害に遭う危険を感じる犯罪は何ですか。（複数回答可）

|                  |     |                 |    |
|------------------|-----|-----------------|----|
| 1. ひったくり         | 132 | 2. 路上強盗         | 70 |
| 3. オートバイ盗        | 14  | 4. 車上ねらい        | 44 |
| 5. 自動車やバイクの部品ねらい | 23  | 6. 自動車盗         | 16 |
| 7. 自転車盗          | 76  | 8. 自動販売機ねらい     | 12 |
| 9. その他           | 18  | 10. 危険を感じたことがない | 5  |
| 回答者数             | 164 |                 |    |

### 「9. その他」の具体的な内容（主なもの）

- ・空き巣、盗難、万引き
- ・不審者、変質者がいる
- ・自転車のマナーが非常に悪い
- ・子どもをねらう犯罪
- ・無差別に理由もなく人を傷つける犯罪



### 【全体的傾向】

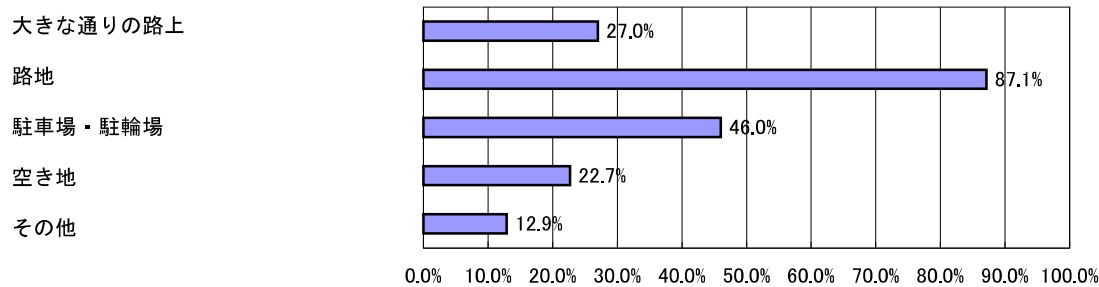
日常生活等の中で被害に遭う危険を感じる犯罪については、「ひったくり」が80.5%、「自転車盗」が46.3%、「路上強盗」が42.7%、「車上ねらい」が26.8%と続いている。一方、「危険を感じたことがない」という回答は3.0%と少数であった。

問8. 犯罪の危険を感じるのはどのような場所ですか。（複数回答可）

|             |     |        |     |
|-------------|-----|--------|-----|
| 1. 大きな通りの路上 | 44  | 2. 路地  | 142 |
| 3. 駐車場・駐輪場  | 75  | 4. 空き地 | 37  |
| 5. その他      | 21  |        |     |
| 回答者数        | 163 |        |     |

### 「5. その他」の具体的な内容（主なもの）

- ・人通りの少ない道路
- ・公園
- ・マンション内
- ・公衆トイレ



### 【全体的傾向】

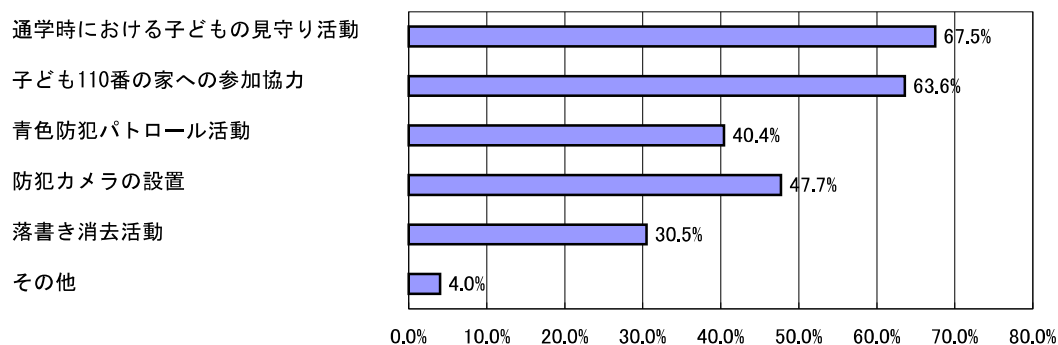
犯罪の危険を感じるのはどのような場所かについては、「路地」が87.1%、「駐車場・駐輪場」が46.0%、「大きな通りの路上」が27.0%と続いている。

問9. 地域と行政が連携して行っている取組でご存じのものは何ですか。（複数回答可）

|                     |     |                    |    |
|---------------------|-----|--------------------|----|
| 1. 通学時における子どもの見守り活動 | 102 | 2. 子ども110番の家への参加協力 | 96 |
| 3. 青色防犯パトロール活動      | 61  | 4. 防犯カメラの設置        | 72 |
| 5. 落書き消去活動          | 46  | 6. その他             | 6  |
| 回答者数                | 151 |                    |    |

### 「6. その他」の具体的な内容（主なもの）

- ・夜回り
- ・連携して取り組んでいることを知らない



### 【全体的傾向】

地域と行政が連携して行っている取組でご存じのものについては、「通学時における子どもの見守り活動」が67.5%、「子ども110番の家への参加協力」が63.6%、「防犯カメラの設置」が47.7%と続いている。

問10. 問9で参加したことの取組をお選びください。（複数回答可）

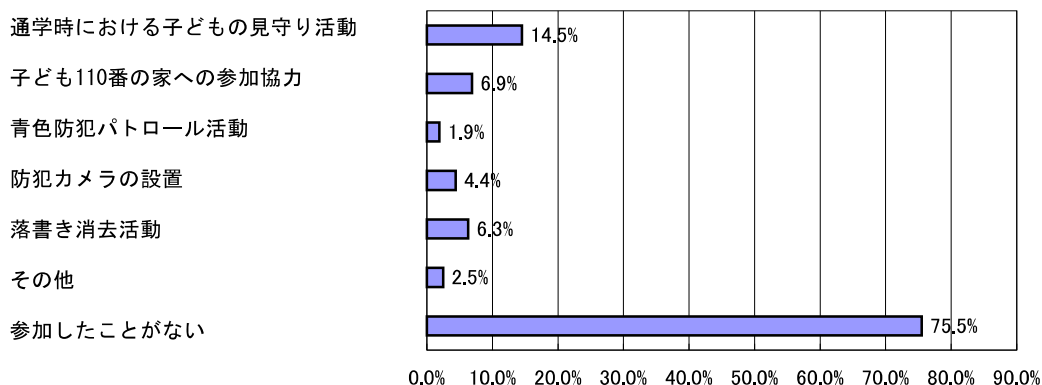
|                     |     |                    |    |
|---------------------|-----|--------------------|----|
| 1. 通学時における子どもの見守り活動 | 23  | 2. 子ども110番の家への参加協力 | 11 |
| 3. 青色防犯パトロール活動      | 3   | 4. 防犯カメラの設置        | 7  |
| 5. 落書き消去活動          | 10  | 6. その他             | 4  |
| 7. 参加したことがない        | 120 |                    |    |
| 回答者数                | 159 |                    |    |

「6. その他」の具体的な内容（主なもの）

- ・PTA等のパトロール
- ・11月のクリーンキャンペーン

「7. 参加したことがない」の理由（主なもの）

- ・取組内容や参加方法を知らない
- ・機会がなかった
- ・仕事等の都合で参加できない



#### 【全体的傾向】

地域と行政が連携して行っている取組で参加したことがあるものについては、「参加したことがない」が75.5%、「通学時における子どもの見守り活動」が14.5%、「子ども110番の家への参加協力」が6.9%と続いている。

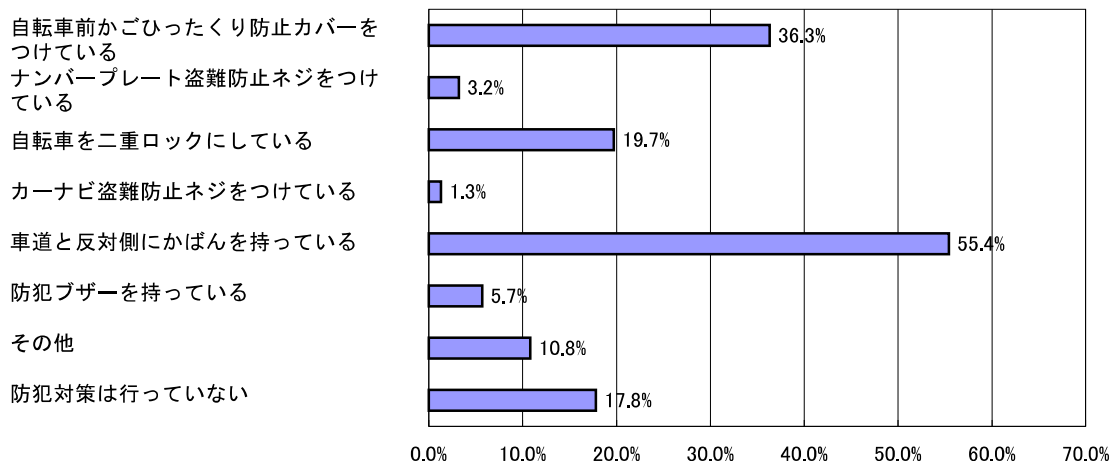


問11. 街頭犯罪に遭わないために普段こういった対策を行っていますか。（複数回答可）

|                           |     |
|---------------------------|-----|
| 1. 自転車前かごひったくり防止カバーをつけている | 57  |
| 2. ナンバープレート盗難防止ネジをつけている   | 5   |
| 3. 自転車を二重ロックにしている         | 31  |
| 4. カーナビ盗難防止ネジをつけている       | 2   |
| 5. 車道と反対側にかばんを持っている       | 87  |
| 6. 防犯ブザーを持っている            | 9   |
| 7. その他                    | 17  |
| 8. 防犯対策は行っていない            | 28  |
| 回答者数                      | 157 |

「7. その他」の具体的な内容（主なもの）

- ・ かばん、貴重品は身につける
- ・ 人通りの少ない道は避ける
- ・ 大金は出来るだけ持ち歩かないようにしている
- ・ 最小限の護身術を身につけている



【全体的傾向】

街頭犯罪に遭わないために普段こういった対策を行っているかについては、「車道と反対側にかばんを持っている」が55.4%、「自転車前かごひったくり防止カバーをつけている」が36.3%、「自転車を二重ロックにしている」が19.7%と続いており、「防犯対策は行っていない」との回答も17.8%あった。

|                                   |
|-----------------------------------|
| 問12. 防災・防犯に関し官民協働で取組める事について（自由意見） |
|-----------------------------------|

94名の方から回答が寄せられました。主な回答は下記のとおりです。

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| ・パトロールの強化                   | 25 |
| ・防災・防犯訓練、キャンペーン、セミナーの実施     | 13 |
| ・防犯カメラの設置                   | 9  |
| ・犯罪情報の周知・共有                 | 8  |
| ・避難場所等の周知（ガイドブック・マニュアルの配布等） | 8  |
| ・街灯の設置                      | 6  |

### 【3】調査結果を受けて

今回の調査結果によると、防災に関して、避難所の場所や道順については、70%近くの方が知っておられましたが、災害に備えて家族や近所の方と話をしたり、実践をしていると答えられた方は少ない状況でした。

また、防犯に関しては、大多数の方が日常生活等で犯罪の被害に遭う危険を感じておられる一方、地域と行政が連携して行っている取組について、取組内容や参加方法がわからないために、参加したことがないと答えられた方が76%おられました。

区といたしましては、今回の調査結果を参考にさせていただき、区民の皆さんの今後より一層のご理解をいただきながら、安全・安心まちづくりの実現に向けた施策を推進してまいりたいと考えています。